

せい ろう まち せ 聖籠町

議会だより



大漁願って車エビ（次第浜船だまり）

VOL.
76

国民健康保険が変わる

2ページ

平成17年度決算認定

6ページ

文化会館の照明設備で臨時議会

9ページ

9月定例会

平成18年第3回定例会は、9月19日から29日までの11日間の会期で開かれました。町長から4期目の所信表明があり、教育委員会委員の同意、聖籠町国民健康保険条例の一部改正、平成18年度補正予算など16議案を慎重に審議し、原案どおり可決しました。また、陳情3件を採択、陳情2件を不採択とし、道路特定財源に関する意見書など3件を可決しました。

平成17年度決算認定については、会期中に特別委員会を設置し、各会計ごとに慎重に審議しました。その結果、本会議において全会一致で認定しました。

一般質問では、7人の議員が、教育や治安、町長の所信について町政全般を質しました。

国民健康保険が変わる

聖籠町国民健康保険条例の一部改正の条例が施行されます。

健康保険法等の一部改正する法律の施行に伴い、70歳以上の一定所得者の一部負担金の割合を2割から3割とする改正です。出産育児一時金の支給額を30万円から35万円に、葬祭費の支給額を4万円から5万円に引き上げる改正です。

主な質疑

一定所得者の基準とは

課税所得にすると、145万円以上が一定以上の所得者にあたる。この改正により、10月1日から3割負担になる該当者は46人である。

高橋繁憲議員

高齢化がどんどん進み、今年の敬老会では2000人を越え2123人となった。その比率は、全体の16%近くを占めている。

月収で28万円以上

町民課長 一定以上の所得者は月収28万円以上、



▲ 町の宝に祝い金アップ

一般会計補正予算

松林自然公園用地購入費
身体障害者居宅生活支援費補助費
道路改良費

1300万円
384万円
2884万円

主な質疑

身体障害者の採用分

五十嵐利栄議員 総務費47万6000円は、6月

議会で9月から身体障害者を採用すると答弁したことについて、アメリシロが8月から9月に大発生した。町民からの苦情も多かったと聞いている。特に県有地や

国有地の防除が大変であったが、これらのアメリシロ対策をどう考えているか。

身体障害者 9月から雇用

総務課長 47万6000円は産休代替えの賃金である。

基本的には改定価格で対応

町長 アメリシロ防除については、県予算編成時期に入っているので、町か

土地購入前例をつくるのか

加藤正之議員 今回の松林の購入単価は宅地単価になっている。

三賀と二本松地区の追分の交差点から東山をつなげる道路は、土地価格改定の前に地権者に説明会を開いたが、新年度に入ってから価格が改定され、新価格で契約された。旧聖中の土地購入も打診していると思うが、こういう前例をつくるべきではない。今後についてはどうか。

基本的には改定価格で対応

町長 公有地の購入条件は、基本的には改定価格で対応することとしている。今回は遵守しながら、

平成18年度一般会計の既定予算に5819万円を追加し、総額72億8532万円とするものです。主なものに、松林自然公園用地購入費1300万円、身体障害者居宅生活支援費補助費384万円、町社会福祉協議会補助金334万円減額、道路維持費678万円、道路改良費2884万円、下水道事業特別会計繰出金1224万円減額などです。



▲ 町が購入した松林

主な質疑

なぜ当初予算に しなかったのか

中村恵美子議員 今回の補正予算に、かなり高額な道路改良費が計上されている。補正予算ではなく、当初予算に計上すべきだったのではないかと。

過去の経緯と 緊急性があった

町長 基本的には、当初予算で計上すべきものであるが、過去から要請されてきたもので、山倉小学校の通学路として位置づけられている道路である。この度、地権者の理解を得たので、早期実現をはかった。

見込み甘かったのか

小川益一郎議員 マニアスプレーター購入の県補助はどうしてだめになったのか。

担当課は県とのヒアリング、事業説明したうえで予算計上したはずだが、



▲ 落花生の収穫作業

見込み誤り、または甘かったのか。

県予算が圧縮された

産業観光課長 マニアスプレーター購入のため、県へ要望していた。

今年度に入り、県から採択できないと連絡が入った。

県予算が圧縮されて、県内すべて、マニアスプレーター関係予算は、県

から対応されていない。担当課としては、町長の指示もあり、予算措置をしているので、町単独事業となった。

改修工事 どういうものか

加藤正之議員 診療所の治療室等の改修工事は、どういう改修工事をするのか。

研修医室を確保

町民課長 今現在の治療室を、患者のプライバシーを守るため、パーテーションの上下のすきまをふさぐ工事をする。

今後、研修医を受け入れるため、奥の部屋の2床取り除き、研修医室を確保する。

手続きを簡略に できないか

高橋繁憲議員 介護予防住宅改修の給付手続きが非常に複雑で申請しにくいといわれている。手続きを簡略にすることができないか。

従来より複雑に なった

町民課長 風呂場等の手すり、段差解消の改修に

ついて、給付申請は、介護保険改正後、もっと複雑になった。

従来は義務付けがなかったが、改修前に、費用見積、改修内容など、事前に提出しなければならぬと義務付けられている。



▲ 改修予定の診療所

- 第三次総合計画・後期基本計画を推進
- 新行政改革大綱「集中改革プラン」の実現
- 「聖籠町家庭・地域教育審議会」を設置

所信表明



渡邊町長

4期目の町政運営に臨む施政方針と基本政策並びに行政報告をいたします。

▼これからの任期4年間について、平成18年度を初年度とする、第三次総合計画、後期基本計画を推進します。

▼地方分権の推進とあいまった、新行政改革大綱「集中改革プラン」の実現に努め、行政コストの

削減と効率的な町政運営のもとで、行政サービスの効果的な執行をはかります。「少ない経費で最大の行政効果」をテーマに努めます。

▼環境対策では、緑豊かな自然を大切にし、ごみの減量化への取り組みと、リサイクルを目指し、環境にやさしい町づくりを推進します。

▼今期の重点施策とします。▼具体的な施策として、小、中学校に、町民参画型の学校運営協議会の設置、町立図書館の機能整備、「聖籠町家庭・地域教育審議会」を設置します。

▼福祉政策では、生活習慣病対策など、保健予防活動の充実や子育て支援、介護予防事業の推進と介護サービスなどの充実をはかります。

▼農業政策では、地域特性を活かした、魅力ある農業振興と観光農業の活性化をはかります。

▼防災対策については、町民の安心、安全な生活が確保されるよう、自然災害に対する防災対策、危機管理体制の強化をはかります。

▼環境対策では、緑豊かな自然を大切にし、ごみの減量化への取り組みと、リサイクルを目指し、環境にやさしい町づくりを推進します。

教育委員に 宮下由美子さんを再任



宮下 由美子さん

教育委員である次第浜の宮下由美子さんが、平成18年9月30日で任期満了となることから、引き続き選任することに賛成17・反対0で同意しました。

宮下さんは平成10年10月から同委員として活躍しており、その人格、識見共に優れた方です。

今後も、教育環境の充実が求められる教育行政に、引き続き手腕を期待します。

平成17年度決算 7会計を認定

平成17年度一般会計並びに特別会計決算7会計は、決算審査特別委員会に付託され、9月26日から27日の2日間の日程で、町長、助役ほか関係課長の出席を求め、各会計毎に審査しました。

その結果、本会議において、委員長報告のとおり全会一致で認定されました。

一般会計決算

歳入総額76億3498万円、前年度対比0.5%、3740万円の増、歳出総額73億6840万円、前年度対比2.1%、1億5096万円の増となり、実質収支では、2億6245万円の赤字決算となった。

町税の81%を占める固定資産税が、大規模償却資産の減価により、前年度対比4.6%減収した。このことが影響して、町税収入48億503万円にとどまり、前年度対比96.4%となり減収傾向が続いている。

このため、財政調整基金の取り崩し、町債の発行等に対応してきたが、今後は長期的財政計画に基づいた健全な財政運営が不可欠である。

経常収支比率は70.5%で、前年度より2.9ポイント減となったが、財政力指数は1.4で高水準を維持している。

町税の収入未済額は、4751万円で、前年度の5640万円より、88万円圧縮された。

特に、滞納繰越額の収入においては、納税対策の努力により、県平均を大幅に上回る成果をあげている。

税の公平性、町づくり原資確保のため、一層の努力を望む。

なお、国県等の特定補助事業財源を積極的に活用するよう更なる努力を期待する。



▲ 決算審査委員会

おき、給付費の抑制につながるよう努められたい。

▼公共下水道事業特別会計については、全町供用開始に向けて、順調に工事が進んでいるが、未接続者に理解を求め、100%の水洗化に向けて努力されたい。

▼水道事業会計については、監査委員の意見書でも指摘されているが、上水道管理棟の無人化を検討するよう望む。

決算委員会の主な報告

ハッピーエンド事業

ハッピーエンド事業は、成果を得られず終了したが、今後は新たな視点での施策を検討されたい。

人員管理

新行政改革大綱で、定員管理の適正化として、正職員の削減をうたう

いる。一方で臨時職員やパート職員が増えている。総合的な人員管理をされたい。

ふれあい農園

ふれあい農園は、町の環境状況から利用増加は望めない。抜本的な見直しをされたい。

交流館「杜」

交流館「杜」の利用者増加のため、広くPRするとともに、定休日のある方を検討されたい。

旧医師住宅

旧医師住宅の有効活用を望む。

循環バス

循環バス利用者数は微増しているものの、当初計画には程遠い。利用者が増加するよう、今後も更なる努力を望む。



▲ 空き家になっている旧医師住宅

特別会計決算

▼国民健康保険会計については、収入未済額は、4923万円で、前年度の5074万円を、151万円圧縮した。関係する担当部署の努力は評価する。

国民健康保険の健全な運営を維持するため、更なる努力を望む。

▼介護保険特別会計については、要介護（要支援）認定者が増加傾向にある。介護予防事業に重点を



▲ 1日2000食余の給食センター

聖籠海岸

町の貴重な観光資源である聖籠海岸を活かし、観光客誘致に努められたい。

給食費の未納

給食費未納額の回収については、担当課の努力は認めるが、園、学校にも協力を求め、保護者の理解に努められたい。

読者の声



新保 良一さん
(杉谷内)

聖籠町の町民として

懐かしい成人式から32年、聖籠町に生まれ聖籠町で生活し聖籠町で職業につき、選挙に行かなかったことは一回もありません。聖籠町は東港の背後で道路交通網などの社会資本の整備も他の市町村と比較して進んでいます。年々都市化が進む反面、高齢化社会の進展、このようななかでの聖籠町の動向、将来を町議会の皆様が「議会議事録」として詳しく報じて頂いています。特に産業関連と教育関連です。産業関連では、聖籠町は農業と観光がセツトになって振興できる地域です。梨・桃・さくらんぼ等の花見、そこで生産される果実と加治川の清流で育つコシヒカリ、そして海は町の宝物です。平成19年度から始まる新しい農業施策に対する不安と農家が、食料生産と供給によって安定した生活ができる農業政策を、聖籠町から国・県の政策に反映されるような議論や取り組みを願っています。次に聖籠町に住んでいる町民全体の安全と安心して暮らせる町づくりです。交通事故、暴力事件、傷害事件は、日常茶飯事、新聞で取り上げられています。このような悪い事件が起きないような町づくりを進めるなかで、隣近所のふれあいを大切にする風土の町づくりを希望しています。

みなさんの 請願・陳情

第3回定例会では、地域住民の直接の声である陳情5件が審査され、3件を採択し2件を不採択としました。なお不採択の1件は、第2回定例会において、継続審査となっていたものです。

採択となった陳情

- ◎公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消をめざし私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書提出に関する陳情（提出者 新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 宮下弘治）
- ◎道路の建設について陳情（提出者 次第浜区長 平野政要）
- ◎道路特定財源に関する意見書の採択について（お願い）（提出者 新潟県道路整備協会 会長 本田富雄）

不採択となった陳情

- ◎通学歩道の設置に関する陳情（提出者 苔沼区長 高橋訓弘）
理由 趣旨は理解できるものの、関係者の同意書が添付されず、関係者の意思確認ができないため。
- ◎農道舗装の陳情（提出者 道賀新田区長 佐藤四郎）
理由 現道舗装では、緊急用道路として幅員がせまいため、冬期間の除雪対応が難しいことと、陳情法線が緊急用道路以外にも及んでいるため。

意見書3件を可決し国・県に提出

第3回定例会で3件の意見書が提出され、すべて全会一致で可決されました。可決された意見書は、国及び県の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

- ◎公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消をめざし私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書（同趣旨にて県にも提出する）
- ◎道路特定財源に関する意見書

第3回臨時議会

文化会館舞台照明設備壊れる（工事費2400万円）

平成18年第3回臨時議会が、8月11日、1日間の日程で開催されました。提出された議案は、専決処分の承認（消防団の県大会出場）、平成18年度聖籠町一般会計補正予算（文化会館舞台照明設備の工事）2件を審議し、原案のとおり可決しました。

主な質疑

異常の場合の対応は
加藤正之議員 町民会館の照明設備は、5年前から点検業者より、異常があると報告があった。この報告をどう受けとめ、対応してきたのか。

その都度対応する

町長 点検の結果、不具合、改善、補修の措置を提案されると、その都度対応をはかっている。
社会教育課長 今後の整備については、最新の機器を入れるよう検討している。今回の整備後もう一回、2期工事ということでやらせてもらいたい。

町民会館の照明設備に補助は

小川益一郎議員 当時の設計、施工業者との協議はどうなのか。
総体的に見積もると1億7000万円ぐらいかかるらしいが、これに要する助成制度はあるか。

補助制度はない

町長 全体的な設計業者、施工業者とある一定の期間ごとの点検、分析、長期的な視点にたった協議の、必要性は感じている。その都度、必要性に基づいたアドバイスを受け、対応してきているし、今後対応をはかる。
社会教育課長 助成制度はない。



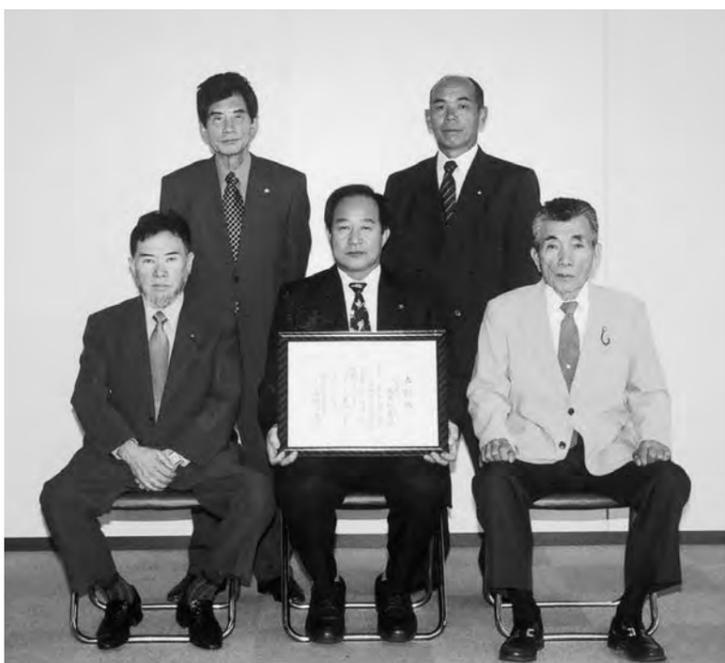
▲老朽化した照明設備

自治功労者

新潟県町村議会議長会から表彰される

多年（10年以上）にわたり、町の地方自治の振興並びに議会機能向上に貢献され功績のあった5議員が、この度（平成18年7月）県町村議会議長会から表彰されました。

- | | |
|----------|---------|
| 砂原 近衛 議員 | 田宮 実 議員 |
| 坂上 誠一 議員 | 遠藤 博 議員 |
| 須貝 龍夫 議員 | |





加藤 正之議員

教育審議会のあり方は

教育委員会の諮問で

問 4期目の施策として教育審議会を設けるとい
うが、教育行政への関与
ではないか。審議会の具
体的な計画と審議会に期
待するものは何か。

町長 幼児教育から小
中学校教育までの一貫性
を持たせるため、12月議
会で提案し、新年度から
対応したい。

教育長と協議し、委員
会と相互理解の上で実施
するので、委員会への関
与ではない。

教育長 教育委員会の諮
問機関として、内容を明
確にし、一定期間内で答
申を得て終了したい。具
体的な内容は今後、委員
会で検討する。

問 東港に関連する外国
人の殺人事件が相次ぎ、
町民の不安と共に町のイ
メージに悪影響を与えて
いる。国際港である東港
を抱える町として、外国
人と共生していくのは当
然のことであるが、どの
ように考えるか。

また、悪質な中古車業
者に対し、厳しく対応し
ている地権者もいるが、
そうでない地権者に対し
町として強く働き掛ける
必要はないか。

町長 町のイメージが悪
くなり、宅地分譲などに
影響しなければ良いと考
えるのは同感である。

外国人が集えるような
施設を東港エリアで設置
できるかどうか。また、
中古車業がいつまでも続
くとは限らないので今後
の課題である。

地権者に説明し対応を
求めているが、現状を知
らず、改めて問題の大き
さに責任を感じているの
が実態である。

宅地造成の仮予約は

間違いだった

問 次第浜宅地造成事業
の分譲申し込みの仮予約
はどの程度あるか。

町長 仮換地がでない
うちは仮予約もできない
仮予約を既に行ってい
ると報告したのは間違い
だった。陳謝する。



▲ 工事は順調（次第浜浜山開発）

外国人との共生は必要

今後の課題

問 果樹の町というイメ
ージを前面に出すとい
うが、さくらんぼは短期間
に集中し駐車場もない。
集客施策として何を考
えているか。

町長 さくらんぼ農家や
組織・農協からは具体的
な話がない。農業振興の
ためにある程度の支援策
は考えている。

農協から要請はない

さくらんぼの集客策は

一般質問



町政を問う

7議員が質問

加藤 正之 議員 (11ページ)

1. 教育審議会のあり方は
2. さくらんぼの集客策は
3. 外国人との共生は必要
4. 宅地造成の仮予約は

宮沢 光子 議員 (12ページ)

1. 4期目の公約どうなる
2. どうとらえているか総合学習
3. 器物破壊などの防止策は

五十嵐 利 栄 議員 (13ページ)

1. 4期目の心境は
2. 岐路の農業政策にどう対応する
3. 公務員の不祥事どう考える

中村 恵美子 議員 (14ページ)

1. どう考える町政運営
2. 国保資格証の分析は
3. 教育基本法の役割・意義は

宮下 晃 議員 (15ページ)

1. 4期目今後の所信は
2. 松くい虫対策と植林計画は
3. 学力のレベルアップを

遠藤 博 議員 (16ページ)

1. こども園に教諭資格者を
2. 地域活性化対策を

小川 益一郎 議員 (17ページ)

1. 町長は独裁者になるな
2. 副議長同伴のあいさつ回りは何か
3. 議会をどう認識する



五十嵐利栄議員

【問】 渡邊町長4期目のスタートで、何点か確認する。大切にしている言葉「温故知新」を具体的に言うとか。また合併について今の考え方と、箱物政策をどう考えるか。

【町長】 亀塚浜のように先祖伝来の土地を離し、移転に協力してくれた人達の気持ちを大切に、町政運営にあたりたい。合併は今後10年から15年は議論する段階でない。

4期目の心境は 温故知新の 気持ちを大切に

【問】 箱物政策は、常に費用対効果と長期展望にたった検討が必要と考えている。

岐路の農業政策に どう対応する

農業者も方向性検討必要

【問】 地産地消協議会を9月に立ち上げたが、広く町民に理解してもらおうため、町の予算をつけてPRする必要があると思う。19年度からスタートする国の農業政策では、認定農業者と集落営農者以外に補助しない内容となっている。このようなやり方で集落の運営が機能していくと思うか。

【町長】 たい肥センターの需要対応が難しい状況は知っている。支援策の検討が必要と理解している。

【問】 全国で発生している酒酔い運転による幼児水死事故など、公務員の不祥事や事件に対して、町としてどのような対応を行ったか。

【町長】 公務員は、他の模範となる道義的責任もある。厳格な法制対応と厳しい処分基準の見直しが必要と考えている。



▲ 秋真っ盛り収穫作業

生産能力1600トンに対し販売量が17年500トン、18年も同じペースで進んでおり、計画通り進んでいない。町も大きく関わっている事業なので、有機減々栽培者などに優先して、たい肥を使ってもらおう施策をとれないか。

【問】 全国で発生している酒酔い運転による幼児水死事故など、公務員の不祥事や事件に対して、町としてどのような対応を行ったか。

【町長】 公務員は、他の模範となる道義的責任もある。厳格な法制対応と厳しい処分基準の見直しが必要と考えている。

公務員の不祥事どう考える

厳しい処分基準の見直し必要

4期目の公約どうなる

町民合意を得て前進したい



宮沢 光子議員

【問】 町長の4期目の公約のなかに、「公共図書館の機能整備の推進」を掲げている。平成17年3月末「聖籠町立図書館環境整備調査委員会」の答申が出された。

【町長】 今現在の図書館の現状や課題が、答申からよくわかる。図書館というのは、作ったから終わりというものではない。平成16年度からブックスタート、平成18年度から3小学校図書室に司書を配置など、図書館を巻き込んだ事業は、概ね町民からは好評である。

【問】 図書館の現状を理解した上で、改築か新築かを再三質問しているが、今後、具体的にどのような方向性を示されるのか。

【町長】 教育委員会から、改善すべき施設整備と独立図書館の整備促進、現状での図書館の内容充実など提案された。施設整備については、現状での増築は非常に難しい。また、新たに独立図書館を整備することは、町民ニーズと合意が必要である。

【問】 平成14年度から学校週5日制となり、ゆとり教育が始まった。学校裁量に任せられた総合学習もスタートしたが、聖中には、公民館の趣味講座のような28講座を、全生徒という授業を行っている。

【教育長】 聖中の「選択みらい」は、国、社、数、業実態、評価をどうとらえているか。文部科学省は、総合学習活性化プランを展開しようとしているが、どのように考えているか。

【問】 小、中学校で器物破壊など頻発している。防犯カメラ設置など、防犯対策をどう考えているか。

【教育長】 学校だより等で訴え、基本的に性善説に



▲ 本から学び本と遊ぶ

器物破壊などの 防止策は

気づきを促すような形で

【問】 小、中学校で器物破壊など頻発している。防犯カメラ設置など、防犯対策をどう考えているか。

どうとらえているか総合学習 評価が非常に設定しにくい

【問】 平成14年度から学校週5日制となり、ゆとり教育が始まった。学校裁量に任せられた総合学習もスタートしたが、聖中には、公民館の趣味講座のような28講座を、全生徒という授業を行っている。



宮下 晃議員

問 少子高齢化時代に対し、今後どのような政策的事業を推進しようと考えているか。

町長 子育て支援の充実をはかるべく、幼稚園、保育園のこども園化、誕生祝い金の拡充を実施し対応してきた。

今後は、児童クラブの拡充などを考えている。また、高齢者施策として、その人がその人らし

国政と町の状況 把握で対応

4期目今後の 所信は

く地域で生活できるように、予防事業の充実をはかる。

国の動向を注視しながら、また町の状況も十分に把握し、効果的な施策の実施を進めたいと考えている。



中村恵美子議員

どう考える町政運営

長期総合計画との整合で

問 聖籠は当分の間合併をしないという判断をし、町政運営をしてきた。

ハード面は終わり、これからソフト面にあたりと聞いてきた。次第浜浜山地区開発の施工、4期目に入ったら図書館を建設するのではないかと聞くことが聞こえてくる。

4期目の町政運営をどう考えるか。

町長 これまでの基本政策を基本に長期総合計画との整合をはかり、重点施策として約束した公約の実現に、住民自治の基本理念に基づいて常に町民と歩む開かれた町づくりに努めたい。

長期財政計画のもと少ない経費で、最大の行政効果を得られるように示

している新行革大綱、集中改革プランの実現に努力していく。

国保資格証の分析は

交付件数多すぎない

問 新潟県内の自治体で、聖籠町は資格証、短期証の発行が多い。この実態をどう分析しているか。

町長 現在資格証、短期証の発行は、国民健康保険の財源である保険税の



▲ 伸び伸びとした教育を

適正な収納確保と被保険者間の負担の公平をはかるためである。

一定期間納付がなかった場合に、町被保険者資格証交付等取扱い要領に基づき資格証と短期証を交付している。

町民の生活保護の決定権は県となっている。相談を受けた場合、制度概要の説明を行うとともに、必要に応じては県と一緒に訪問し、対応をはかっている。

権は県となっている。相談を受けた場合、制度概要の説明を行うとともに、必要に応じては県と一緒に訪問し、対応をはかっている。

問 教育基本法第一条で教育の目的が書いてあるが、この基本法の精神とそれに基づいて構築された教育諸制度が、戦後の日本社会に果たしてきた役割、意義についてどう考えるか。

町長 戦後61年経つ現在、日本の戦後の社会背景を考えた場合、それなりの役割と、意義については果してきたのではないかと理解している。

教育基本法の役割・意義は

それなりに果たしてきた



▲ 松くい虫の被害実態

松くい虫対策と 植林計画は

要請あれば助成金検討

問 民有林の被害木伐倒跡地に、植林や下草刈りなど管理上の指導をする考えはないか。

また、苗木の斡旋及び苗木代の一部助成はできないか。

町長 植林や下草刈りの管理指導、苗木の斡旋などは所有者に要請はしているが、労力的、経費的な問題などで、実態として管理が行き届いていな

学力のレベルアップを 学校と家庭が一緒に

いのが事実である。

今後県の指導を得て対応していく。苗木の確保要請があれば、一部助成も含め、その時点で検討する。

問 本町の小、中学生に係る、学力のレベルアップはどうしたら、その効果が現れると考えているか。

また、中学校は2学期制をとっているが、そのメリットとデメリットは何か。

教育長 一人ひとりの子どもに確かな学力を身につけさせ、更に向上させるということは、今もこれからも重要な課題と認識している。

生活習慣や日頃の生活態度とも関係があり、学校のみならず家庭や地域と一緒に、取り組んでいくことが一層の効果を上げることを考える。

また、聖籠中学校は2学期制ではなく、学校管理運営に関する規則に基づき、3学期制で対応している。

2学期制と混同しやすいのは、前期と後期に分けてテストを行うことから、2学期制にとられやすいものである。



小川益一郎議員

問 聖籠町は、合併をしないと決定をして、しばらくたつ。
今後財政シミュレーションを見ると15年くらいは合併をしないで自立可能だと聞く。
北蒲原唯一の町として、これからも自立して行く聖籠町として、町民の期待と夢を壊さないようにしてもらいたい。
8月25日の日報「合併」その後の検証インタビュー

「で町長は一国一城の主であると言っている。聖籠町のリーダーであるが殿様ではない、町民は家来でもないし、主従の関係でもない。無競争になると、天狗になつたり、独裁者になるのか。高い志をもて。」
町長 新聞記事に記述された言葉の表現をどうとるか、それぞれの思いからの結果であり、やむを得ないと思う。

副議長同伴のあいさつ回りは何か

当初からの支持者

問 町長は6、7月と選挙前に、現職副議長を同伴してあいさつ回りして歩いていた。
議会も全員、私の指示に従っているし、応援もしているとの思いであれば、とんでもない誤りである。
町長 特に副議長だから同行したものでない。当初からの支持者であり後援会の事務局として私を支えてくれた一人である。

問 町民会館の照明、音響装置の故障、修理のため1億7000万円の財源が必要であり、そのうち第1期工事で約3000万円近い補正を専決できないかと全員協議会に諮られた。
結果多くの反対で臨時議会を開くことになった。専決とは緊急性のものである。議会に対する考え方や認識をどう考える。
町長 議会と執行部は地方自治法でそれぞれの権能と役割が規定されている。議会の運営にかかわるものについては、議会の責任において適性に処理し、議会運営がなされてきたものと理解している。
全員協議会における専決処分提案の仕方についての指摘は、十分認識し遺憾の意を持っている。

議会をどう認識する

遺憾であった

他意はない

特にこの一国一城の言葉の意味に他意はない。

町長は独裁者になるな



▲ 8月25日の新潟日報

こども園に教諭資格者を

教育審議会に対応



遠藤 博議員

問 町では、こども園、小学校、中学校の12年カリキュラムのなかで教育に取り組んでいる。400メートルリレーに例えると、第1走者が幼稚園児、第2走者の小学生にバトンを渡す時の助走に当る5歳児において、小学校での生活、勉強を想定した指導が今最も必要と思う。
対策のひとつとして、こども園に小学校教諭資格者を嘱託として採用し対策にあたるべきと考える。
教育委員長 小一プロブレムを解決するために貴重な意見として受けとめるが検討を要する。
町長 こども園、小学校、中学校の一貫した教育力を高めるために、教育審議会の課題として対応する。

一口メモ
※小一プロブレム
小学校に入学したばかりの児童が教師の話落ち着いて聞けず、友達と騒いだり、教室を歩き回るなどして、授業が成立しない問題。



▲ 楽しい運動会（蓮野こども園）

地域活性化対策を

知恵と創意工夫を支援

問 東港の発展と共に外国人の滞在者も多くなり、さまざまなトラブルが発生している。
生ごみステーションのトラブル発生防止対策と

して、中古車販売業者に外国人登録時点で、ごみ袋購入の依頼をし、町のルールにそって出すよう要請すべきである。農政

が180度変わるとまで言われている。
町内には、農業にたくましく立ち向かっている農家も数多くいるのも現実である。
条件が厳しいなかであればあるほど農家自身がやる気と元気の出る手助けを力強く行っていくべきである。
町長 外国人生活マナーの関係で、ごみ袋提供についての提案は同感である。
農家自身が知恵を出して創意工夫しながら組み立てる事業があれば、調査研究し大いに奨励していく。経済的支援もやさかではない。農家からの叱咤激励を期待する。
生活環境課長 外国人登録に来た時、チラシで指導しているが、90日未満の滞在者には、配布は考えていない。中古車業者には、事業系ごみとして契約する方向で指導している。

委員会の重要

課題調査報告

企業誘致と人口増で

自立の町視察

総務文教

7月6日、7日、島根県斐川町を訪問し、行財政改革・人口増加策・及び登録外国人施策について調査を行った。人口2万8000人・18年度予算107億円の斐川町は企業誘致と雇用が決めるとなつた「定住」へのま

ちづくりを進めた結果、県内の人口が減少しているなか、回復から増加に転じている。道路整備・企業誘致・図書館及び博物館の建設・中学校の移転など社会基盤整備に力を入れてきたため、財政が非常に厳しくなっていることから、徹底した行財政改革に取り組んでいる。また、合併問題では平成15年の住民投票結果を受けて、単

独町制存続という厳しい選択をした。厳しい財政のなかではあるが子育て支援には力を入れていることから、若い世帯のニーズにマッチしており、人口は増加の傾向である。



町内グループホーム施設を視察

社会厚生

8月4日、介護福祉について、町内に6月より開所した「グループホームせいろう」を視察した。

規模は、2ユニット18人が入所できる。要介護認知症の状態にあるお年寄りが、家庭的な環境の中で、介護士からの支援を受けながら少人数で共同生活を営む住まいである。



運営は、地域密着型に指定され、町内在住者を対象としている。町外者が利用するには町と協議のうえ入所が可能である。入所費用は、家賃光熱費2カ月分11万円を預託する。本人負担は介護度1の場合、介護対象分一部負担金・家賃

食費計月額10万9600円。負担が多いことから、高齢者には健康な身体で過ごせるよう、町の支援体制が望まれる。

農業と観光の町視察

産業経済建設

7月20日・21日佐賀県嬉野市を訪問し、観光の振興策及び農業と観光の活性化策について調査を行った。

当市の観光は西日本一番の歴史のある温泉地でピーク時の客は年間215万人であったが、年々減少して昨年は、140万人に客が落ち込んでいる。

宿泊施設は、50軒で最大収容人数は5000人である。これ以上観光客が落ちないよう市の観光協会、旅館組合、行政が一体となり、九州はじめ全国に嬉野温泉まつり、お茶サミット、温泉豆腐等PR活動を行っている。また、行政が特に力を入れているのは宿泊する団体1人につき300円最高10万円まで補助、旅行者にも最高5万円の補助をして年間570万

円を補助した結果、入湯税は1億円を上回る結果となった。農業との結びつきも大きく、50億円の農業収入のうち、お茶は観光地を主体として売り上げを伸ばしており、18億円もの売り上げで、農業と観光の結びつきは不可欠であり、本町においても見習う点が多々あった。



全国広報研修会へ参加

議会広報

8月29日、30日に平成18年度町村議会広報研修会が東京で開催された。

4人の講師から、わかりやすい文章表現・美しい自然風景の撮り方・企画・編集のテクニック・議会広報クリニクの指導を受けた。

プロの写真家である講師は、自分の作品を見せながらの講演であった。

一枚の写真が、広報にとつて、いかに大事であるか実感した。

クリニクでは、聖籠町の広報に対して、講師の評価は、かなり高いものであった。総評として、「全国のなかでもレベルは高い。編集姿勢、技術とも優れている。」ということであった。



しかし、細かな改善点も指摘を受けたので、委員会と協議を重ね、今後の議会だよりを生かしていきたい。

お知らせ

町政を知るよい機会
議会を傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが論議されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのだろうか。

あなたに身近なことも知れません。

だれでも傍聴できますので、ぜひ一度おいでください。

おいでになれなかったときでも、町図書館と保健センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧ください。

次回定例会は12月初旬で、日曜議会を予定しています。



お願い

あなたもみんなのページ
聖籠町に嫁いで来た
お嫁さんに出てみませんか！

もし、私もと思っている方はご連絡下さい。

対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。

(連絡先)

町役場議会事務局

☎0254-27-2111(内線321)

議会広報対策 特別委員会

議長	高松 春雄
委員長	中村 恵美子
副委員長	宮沢 光子
委員	高橋 繁憲
	小川 益一郎
	宮下 晃
	五十嵐 利栄
	桜井 怜

みんな

の

ページ

聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？

旦那とは、飲みに行き知り合いました。お互い一目惚れでした。

そこで、また偶然会い、お話をしたりして、仲良くなりました。



吉田 美穂さん
(真野)

Q 聖籠町に嫁いで来て どんなイメージを持ちましたか？

聖籠町は、お米も野菜もおいしくて自然に恵まれている町だなあと感じました。

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん、今回は胎内市出身で平成18年8月に真野に嫁いで来た吉田 美穂(旧姓 江畑)さんです。

皆さんよろしくお願ひします。

Q 町での生活はどうか？

まだ聖籠町に来て間もない私ですが、だいぶ慣れ毎日がすごく楽しいです。

Q 町に望むことはありますか？

少子化の時代なので、これからもっと子どもたちが、住みやすい安全な町づくりを目指して行ってほしいです。

議会広報対策特別委員会
委員 五十嵐 利栄

7月は毎日雨、8月は連日の猛暑、今年の異常気象で農業は作物によっても地域によっても収穫量に大きな格差が生じました。
9月は日本の総理大臣が5年振りに交代し、聖籠町町長も4期目のスタートを切りました。
国政では、年金・行政改革・格差是正・拉致・消費税など多くの課題がどう実現されるか。
町政では、教育・福祉・環境・開発・農業などの公約がどう実現していくか、町民の皆様と共に見守っていききたいと考えています。

編集後記